

はじめに

近年、富山市の農業は担い手の減少と高齢化による慢性的な人手不足によって作物等を栽培しない不作付地等が増大し、農業生産力が低下するなど深刻な状況になっています。

その一方で、地産地消の推進や食の安全に市民の方々の関心が高まる中、農作業を体験し、農業に係わりたいという方が増えてきています。

このように、農家が抱える問題と市民の皆さんの『農』に対する思いを結びつけるため、平成20年度より『とやま楽農学園』を開講しております。

当学園では、農業サポーターとして活動し農家を支援したい方や、将来就農し農作物を生産したい方を対象に、実践的な農作物の栽培研修を行い、農業の新たな担い手の育成に努めております。

今回は、農業サポーターを目指す方々を募集します。あなたも講座や実践研修を通して栽培に関する知識を深めながら農業サポーターとして活躍してみませんか。

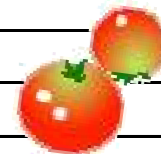


(写真: 梨の摘果 サポーター活動)



とやま楽農学園 受講者募集

コース名	農業サポーター養成コース			
募集対象者	・農業サポーターとして活動し、市内の農家をサポートできる方			
研修期間	2年間（水稻講座は1年間）			
募集区分	野菜講座	果樹講座	花き講座	水稻講座
定員	40名 (午前の部20名) (午後の部20名)	20名	20名	20名
研修内容	野菜の種まきから収穫までの栽培技術の習得	梨とリンゴ等の栽培技術の習得	切り花等の種まきから収穫までの栽培技術の習得	水稻の栽培技術の講義(座学のみ)
研修回数(年間)	午前・午後の部ともに15回	14回	14回	7回
	主に金曜日の午前・午後開催	主に火曜日の午前開催	主に金曜日の午前開催	主に月曜日の午前開催
種苗・資材代等(年間)	午前・午後の部ともに5,140円	4,630円	4,630円	2,050円
	(種苗・資材代、傷害保険料等として) ※水稻講座は、講座で使用する教科書を、別途、購入していただく予定です。			
選考方法	・書類選考で受講者を決定いたします。			
研修スタイル	<ul style="list-style-type: none"> ・研修は、講義と実践活動を並行して行います。 ・研修の時間は午前9:30~11:30の約2時間です。〔野菜講座の午後の部は13:30~15:30です〕 ・野菜・花き講座は営農サポートセンターほ場で、また、果樹講座については境野新地区(梨)や池多地区(リンゴ)の栽培研修を行います。尚、天候次第では開催予定日以外に行うこともありますのでご了承ください。 ・水稻講座につきましては、研修期間は1年間、座学による講義のみの講座となります。(栽培研修はありません) ・スケジュール日以外でも作業していただく場合があります。 			
募集期間	平成27年1月20日(火)から2月27日(金)まで(必着)			
応募方法	①申込書で申し込む場合：所定の申込書に必要事項を記入の上、郵送またはFAXで営農サポートセンターへ。 ②Eメールで申し込む場合：富山市および営農サポートセンターのホームページ(HP http://esc-toyama.net)から申込書をダウンロードし、営農サポートセンター(Eメールアドレス：einousapotosenta@city.toyama.lg.jp)へ。 ※申込書は、営農サポートセンター、富山市役所総合案内、各地区センター、各総合行政センターの市民生活課・市民福祉課農林商工課・産業建設課にあります。			
応募先	・富山市営農サポートセンター 〒939-8132 富山市月岡町三丁目101番地 Tel076-429-4504 Fax076-429-2449			
結果の発表	・選考の結果は3月末までに、郵送にて本人に通知します。			
注意事項	・複数の講座を受講できます。(応募多数の場合、ご希望の講座や複数の講座を受講できない場合があります)			
	・『農業サポーター』とは、農繁期に農家から農作業の要請があった場合、支援できる方をいいます。			
	・スケジュール日以外の作業は、苗の定植から収穫作業に至るまでの栽培管理を行うこととなります。			
	・途中で受講できなくなった場合でも、資料代等の返還はいたしません。 ・研修の開始は、平成27年4月からを予定しています。			



※なお、3月上旬に「とやまスローライフ・フィールド」において、家庭菜園コースの募集を予定しております。